

# 戦争の一年半： ハルキウ市の再生 への歩み

ペトリシェヴァ・ニーナ  
yamnina@lets.chukyo-u.ac.jp



# ウクライナ市民の日常生活に おける一番大きい要素： ロシア軍による空襲

2023年10月30日現在、  
3000本以上のミサイル

<https://forbes.ua/war-in-ukraine/raketi-30102023-16966>

一番良く使われる無人機  
Shahed136は4000機以上

[https://uk.m.wikipedia.org/wiki/%D0%9F%D0%B5%D1%80%D0%B5%D0%BB%D1%96%D0%BA\\_%D0%B0%D1%82%D0%B0%D0%BA\\_%D0%91%D0%9F%D0%9B%D0%90\\_Shahed\\_136](https://uk.m.wikipedia.org/wiki/%D0%9F%D0%B5%D1%80%D0%B5%D0%BB%D1%96%D0%BA_%D0%B0%D1%82%D0%B0%D0%BA_%D0%91%D0%9F%D0%9B%D0%90_Shahed_136)

+滑空爆弾や多連装ロケット砲



国連によると2023年11月現在一般市民の

1万人以上死亡、内560以上子供

大人と子供は合計18500人以上大けが

この数字はウクライナ側で確認できた人のみ  
ロシアが占領している地域についてデータがない

マリウーポリ市だけでは

18000人から25000人が亡くなっていると推測



←

## ハルキウの青空戦争 メモリー

2022年の冬から夏に  
かけてハルキウを  
襲った戦車など

↓

ハルキウへの空襲  
に使われたミサイル  
などの残骸(一部)

←





2022年の冬から夏  
にかけてひどい  
空襲を受けた  
ヨーロッパで一番  
大きかった  
マンション街

今まで建物の解体  
が終わっていない  
主な襲撃が夜から  
朝まで行われて、  
一般市民の死者や  
怪我人が多かった  
窓にガラスの代わ  
りに入れたパーチ  
クルボードの  
アパートに2022年  
の秋まで人々が住  
んでいた





右にあるマンションに住んでいた人々が料理を作ったオーブン  
マンションにガス・電気・水・暖房  
がなかった。家庭毎の焚火が  
無人機(熱と火を探知)による空  
襲の的だったため、マンションの  
住民全員がこの暖炉を使って共  
同で料理を作った  
2022年の秋から全員が避難所等  
に移動ができた

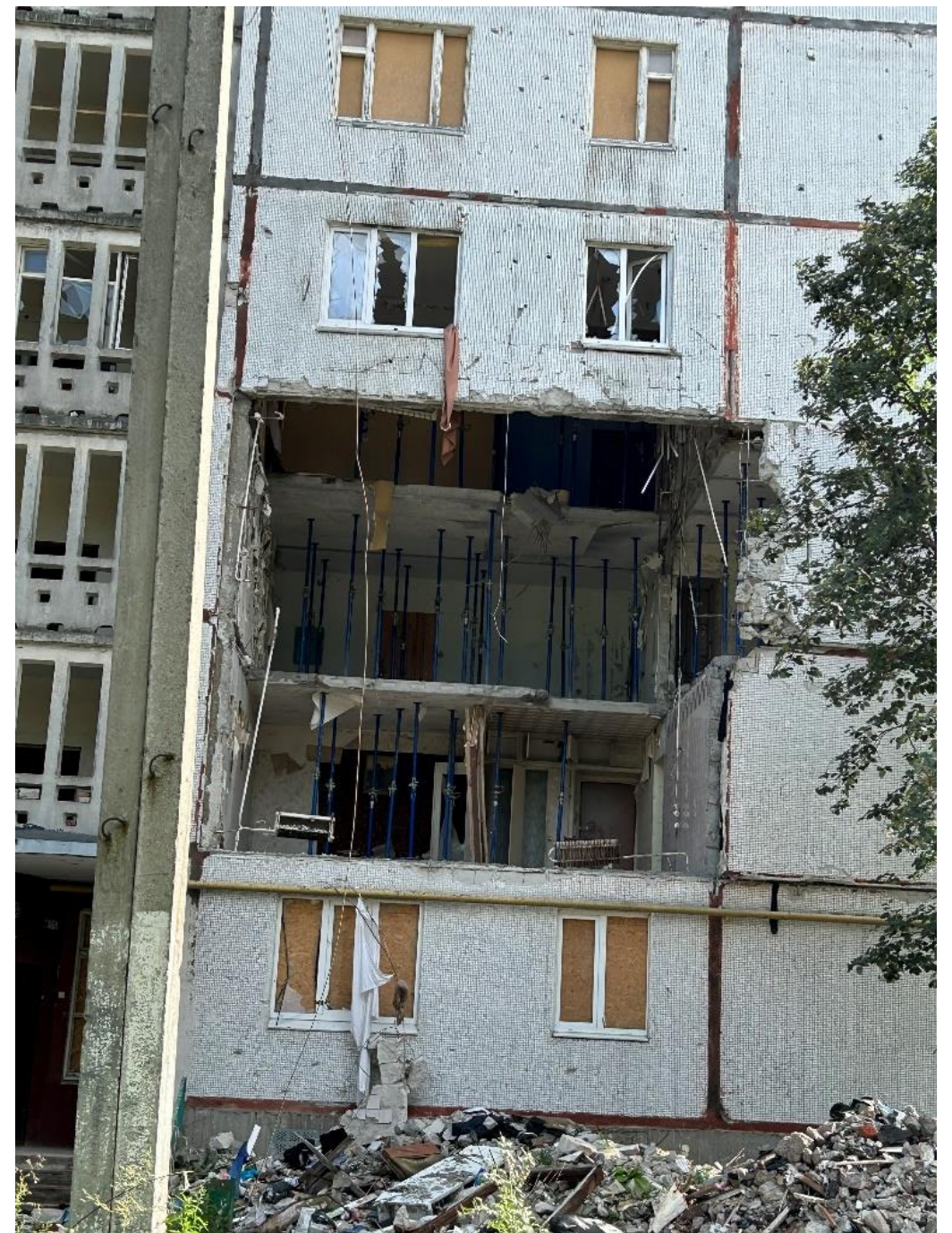


入口に記した「Люди」は  
「人々」という意味で、通りが  
かった人々は、このサインか  
ら建物にはまだ人が住んでい  
ると認識し、ミサイル等が複数  
の建物に着弾した際にはこの  
建物が優先的に救助される



全ウクライナで13200棟の  
高層ビルが被害を受け、  
5400棟が完全に崩壊された  
59000件が完全に崩壊された  
一軒家について言うと144,000件  
が被害を受け、59,000件が破壊さ  
れた人口1万人以上の町でいうと、  
20以上の都市が完全に崩壊

参考資料：<https://www.unian.ua/economics/finance/zbitki-zhitlovogo-fondu-ukrajini-perevishchili-54-milyardi-novini-ukrajina-amp-12309504.html>





共同ガレージ  
戦争の前に  
ミドルクラスの  
ウクライナ人が一台  
の車を15年以上  
使っていた  
一家族に車一台が  
普通だった



## 2023年の ハルキウの 象徴

修繕可能なマン  
ションは順番に直  
されるが、  
修繕不可能な  
マンションは解体  
され、再建される





ロシア軍がハルキウへ攻撃していた2022年の夏  
戦車の妨げになるチェコの針鼠、車の台数は極めて  
少ない



2023年の夏 チェコの針鼠が道の横に移動され(完全に取り除か  
れてはいない)、車の台数が戦前の半分ぐらい





←

人が住んでる  
マンション  
衝撃波で壊され  
た窓にガラスの  
代わりにパーチ  
クルボード

部屋から見た  
衝撃波に対して  
強化した窓  
住んでいる人  
によると部屋の中  
が暗くて、気分  
もとても暗い...





C-300 ミサイル  
が飛んできた  
町市場だった  
ところ



その市場に、ミサ  
イルで破壊された  
設備の破片や割  
れたガラスを使い  
住民が作った  
花壇

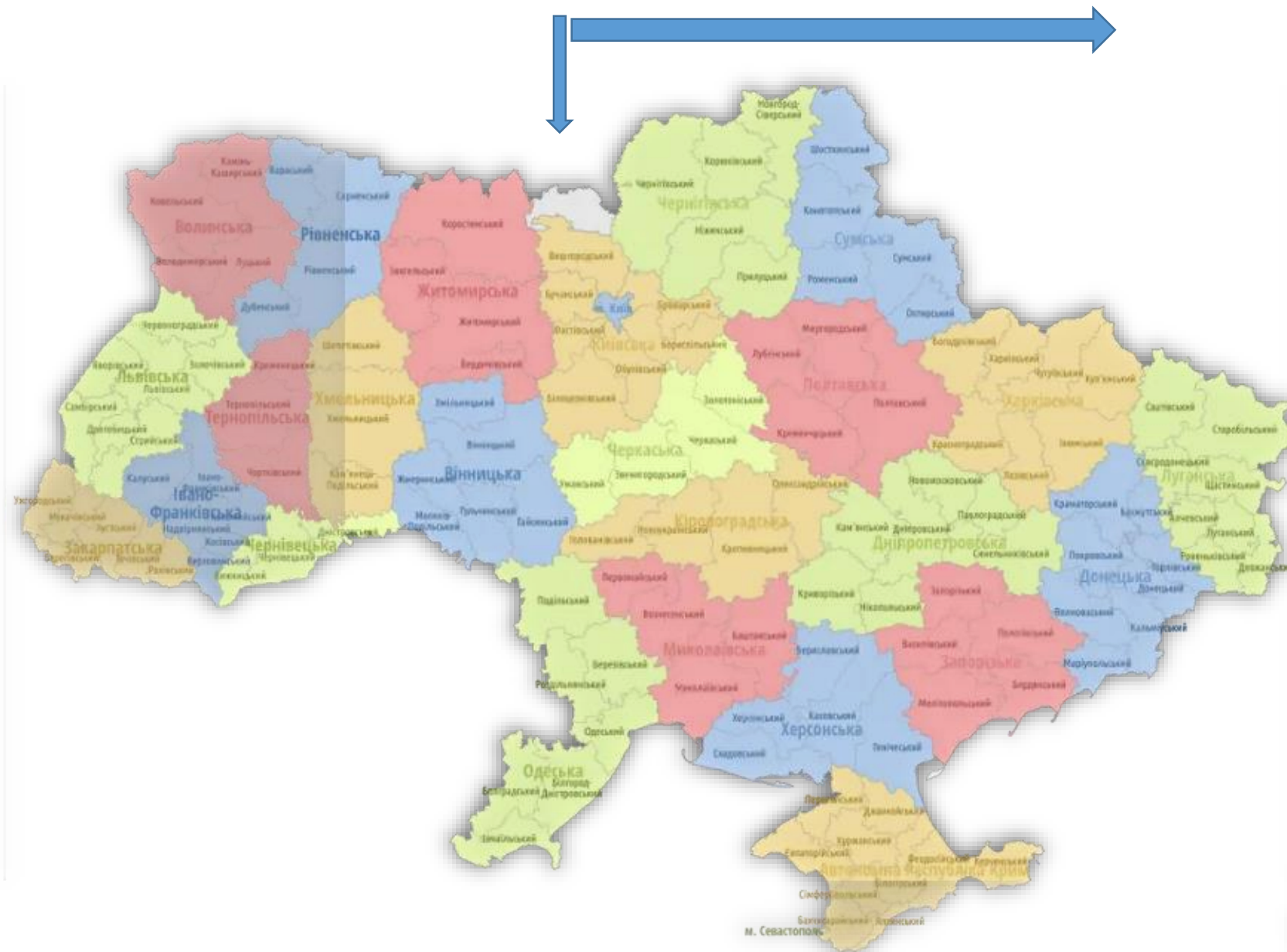


ハルキウは私の古里で、上記  
な場所は子供時代に  
住んでいたマンションの近所

この花壇はウクライナの  
象徴になりますように



矢印の右側が戦場に近い地域で、毎日に空襲を受けている

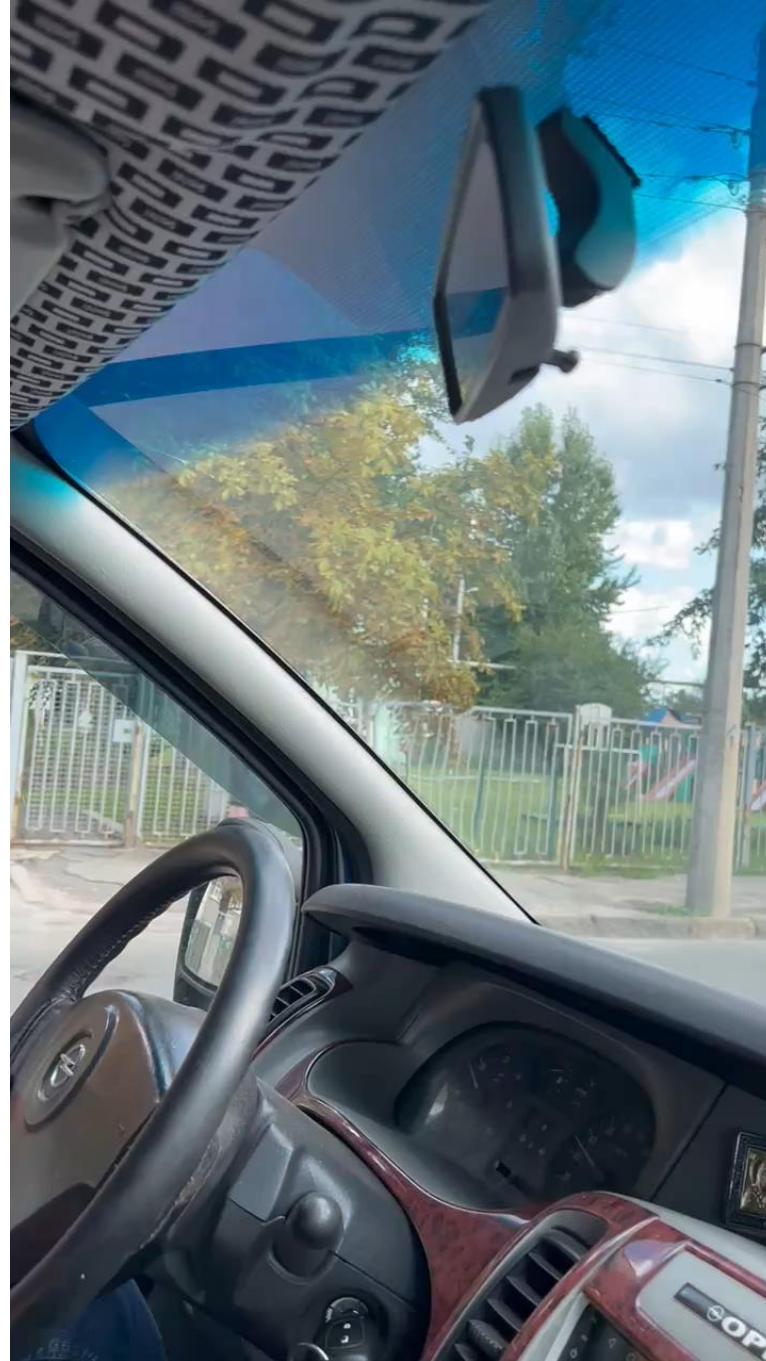


左側にある黄色い建物が  
学校だ(小から高まで)

ハルキウやハルキウ州に  
ものすごくたくさんの学校が  
同じ状態かよりひどいか

上記のスライドの「戦場に  
近い」地域に全ての学校が  
オンライン教育のみ行う。

一方、空襲警報の時にWiFi  
が付かない、有線LANの線  
がいつやぶれてもおかしく  
ない



ハルキウでオンライン教育に  
加えて

## 地下鉄での学校

3000人以上の生徒

9時からの授業と

13時からの授業

都市全体から都市運用バスで  
通交・無料

5つの駅でのクラス

警察官・非常事態郡の当番

ハルキウに残っ  
ている教員の  
人数

去年: 53%の教員

今年: 68%の教員





**地下の学校**  
2024年8月まで開校  
500人の生徒  
C-300も大丈夫  
地下室への移動時間は  
1分未満

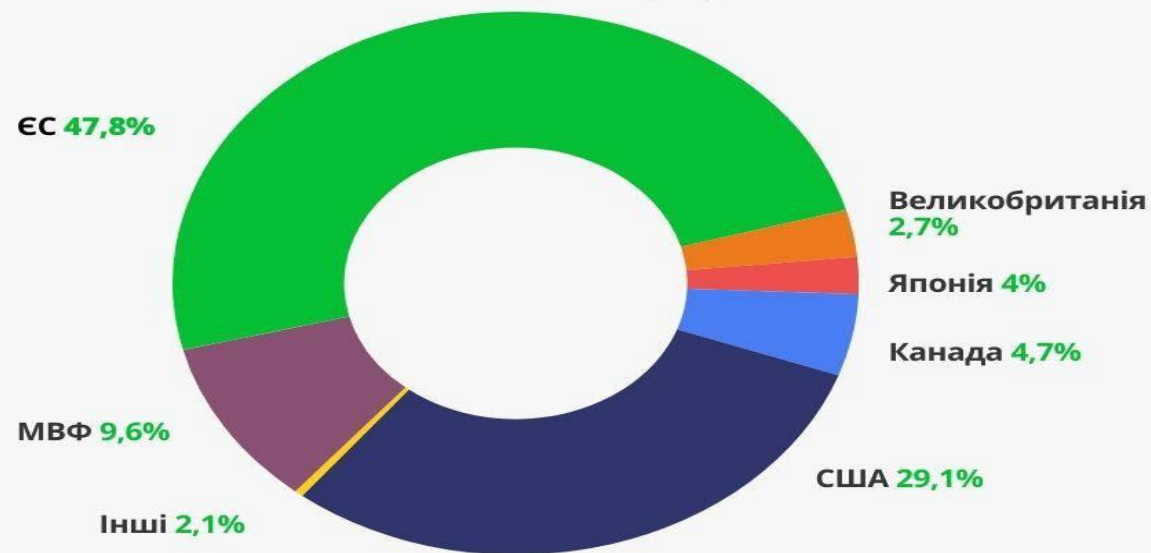






## Структура зовнішнього фінансування бюджету

за 11 місяців 2023 року:



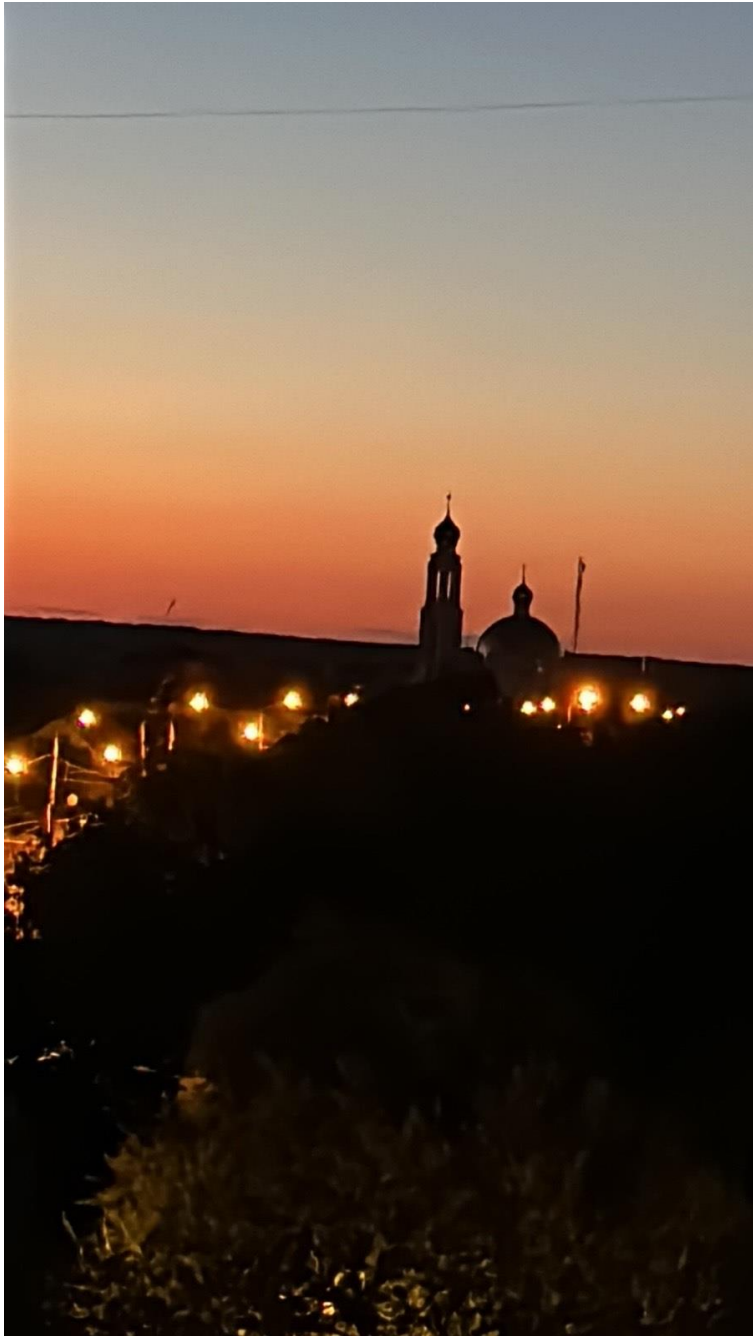
Україна **の** 国家予算の大半が海外支援  
内: EUは47.8%、USAは29.1%、日本は4%

Українаの重工業は東に集中していたため、全滅。  
中企業の半分以上倒産、小企業は海外ファンドの支援  
で生き延びる

ショッピングモールで少なくとも3分の1のお店が閉店

# 他の問題点

- 武器に関して、海外依存（提供の遅れ、不足等）
- 動員（希望者が次第に少なくなっている）
- 医療（手術等は当然、軍人の負傷者優先；献血不足）
- 戦争からの疲れ（兵士、経済、両方を支える一般市民、外国）
- 目的の不明（海外からもらっている武器でロシア国内への攻撃禁止）
- 汚職（海外・国内政府代表者への不信）



← 一年ぶりの  
街の灯り

平和の象徴 →  
(ハルキウの希望)

